

上灘地区

教育振興会だより

平成30年度
第29号
発行
上灘地区教育振興会



児童の夢が育む

上灘へ



上灘地区教育振興会

会長 山浦 昌美

教育振興会の会長を拝命した時、どんなことをするのだろうと事務局の方に尋ねた所、上灘小学校の子供たちの会合イベントに参加して、地域の子供達の育成をして欲しいと説明を受けました。その後何回かイベントに出て挨拶をし、児童に語り掛ける機会が有りました。

話したこと ①「流れゆく 白い雲・・・の校歌を思い浮かべ遊びの中でも勉強をして欲しい。」 ②餅つき交流会で「餅は何人も手が加わって出来上がる。家の食事でも皆さんが手伝いをして欲しい。」 ③「先生方の元、皆さんはこの上灘小学校を盛り立てて欲しい。」と。

また、生徒の皆さんからも沢山の話を聞きました。 ①校歌：「どうしたら白い雲を夢にのせられるか？」 ②菜の花ロードで「花をおひたしで食べたなら美味しい。」 ③卒業式の誓いで「将来になりたい姿として、市役所の職員、消防署員また介護士になって地域の人を助ける人になりたい。」と。

話してみると 子供達には夢があり、私の気づかない中で地域の人達へ語り掛けていっているようにも感じました。また、この間の餅つき会では、何も声に出さないで首を「縦と横」に振る児童がいました。美味しいと聞いた時「縦」に、餅・豚汁のおかわりは と聞くと「横」に首を振りました。しかし、その児童は食べ終わると 自分で取りに行つて食べていました。この子はどんな子だろうと思つていたら、最後に「ありがとうございました」と挨拶してくれました。この一年間を振り返ると、児童と接して、今の児童・生徒の気持ちが少ないは理解できるようにになったかなと思つています。本振興会のイベントを進めるにあたり、老人クラブ、社会福祉協議会、民生委員、館長会、保護者の方、教職員におかれては、企画・準備・開催等で地域とともに歩む大変な御努力、御尽力をしておられると強く感じています。20年30年後にこの

児童達が、上灘の地で結婚し、子供が出来て根付いて、そしてイベントに参加してくれると共に、懇談会等で一年・昨年からの継続を語るのももちろん大切ですが、明日の提案・希望を語る親・保護者に成長してくれることを夢見てペンを置きます。

「地域とともにある学校」へ

上灘小学校

校長 山根 操



本年度も、地域の皆様には上灘小学校の子どもたちのために温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝しています。

1・2年生との昔遊び交流や3・4年生とのもちつき交流、5年生が中心となつて取り組んでいる菜の花プロジェクト、6年生の「うわなだ未来塾」のみなさんにお世話になつた「地域探検」、民生児童委員さんとの花の苗植え、「おれんじうさぎ」さんによる読み聞かせ、家庭科での調理実習支援、九九の聞き取り、つつじの剪定、ゲスト・ティーチャーとしての学習支援、交通安全指導、遠足での見守り、登校指導やあいさつ運動、下校の見守り支援等々。学校支援ボランティアとしても80人を超える方に正式に登録していただくことができました。特に本年度は、「見守りボランティア」を創設し、40数名の方に登録していただきました。不審者情報も多くありましたが、「うわなだ11番」、「うわなだバトロール」とともに、この「見守りボランティア」のマークも「みどりのくまさん」としています。子どもたちの安全・安心できる環境をつくるためにも、保護者・地域の皆様にたくさん協力していただきました。多くのご支援とご協力、本当にありがとうございます。

機会ある毎に、「ナナメの関係」の大切さもお話ししてきました。地震に対して、梁や柱とともに筋交いが入ると強い家になります。梁が同世代との「ヨコの関係」、柱が親子や教師と児童という「タテの関係」、そして地域に住んでいるおじさん、おばさんとの関係や、おじいちゃん、おばあちゃん、兄弟姉妹など世代を超えた先輩・後輩との関係が

「ナナメの関係」です。人間関係に強い子になるためには、「ナナメの関係」の人と積極的に関わり、コミュニケーションの練習を積むことが必要になってきます。本年度も、ゲスト・ティーチャーや学校支援ボランティアの方々のつながりによって、子どもたちはたくさんさんの「ナナメの関係」をつくることができたのではないかと思います。

倉吉市が、地域学校委員会を正式に学校運営協議会として位置付け、全小学校がコミュニティ・スクールとなつて2年目となります。地域との連携・協働からさらに、「地域とともにある学校」をめざし、今後も保護者・地域の方々と一緒に子どもたちを育てていきたいと思ひます。どうぞよろしく願ひします。

平成三十年度 上灘地区教育懇談会報告

「地域で子どもを育てる」
地域でできることは何か

11月22日（木）に本年度の上灘地区教育懇談会（教育を考える会）を開催しました。この会は上灘小学校地域学校委員会と上灘地区教育振興会とで実行委員会を組織して実施しているものです。本年度も「地域で子どもを育てる」というテーマでの開催でした。地域の方、保護者、教職員等、約70人の参加をいただき、「地域で子どもたちを育てるために、自分（たち）にできること」について、11のグループに分かれて熱心な話し合いが行われました。

◆こんな上灘地区にしたい（めざす姿）

- ・明るく元気 気軽に声をかけあう上灘
- ・だれとでも笑顔であいさつできる上灘地区へ
- ・帰ってきたいと思えるような上灘地区にする！
- ・子どもの笑顔が見える上灘



◆私たちにできること

【学校で】

- ・子ども達が、顔を覚えることができる関係をつくる。
- ・ゲストティーチャーとしてつながる。
- ・学校支援ボランティアに参加する。
- ・名前を覚えてもらえるような行事・交流をする。

・学校内の行事に地域の方が参加しやすいように招待・宣伝する。

・写真を掲示するなど応援してください。人の顔を覚えてもらえるようにする。

・地域行事への参加の呼びかけ。

・よいあいさつは表彰する。

【家庭で】

- ・家族の間でまずはあいさつ。
- ・自分の子以外への関心。
- ・手伝いを通じて触れ合い。
- ・親子で地域の行事に参加する。
- ・出会い触れ合いを
- ・親が進んで参加する
- ・声をかけあつて、地域の行事にどんなに参加していく。

【地域で】

- ・子どもの笑顔を見たい！というあたたかい心を持つて声かけ。
- ・大人からあいさつ。
- ・子どもと地域のつながりをつくる。
- ・活動に親子で参加し子どもと地域のつながりを。

- ・子どもが参加できる行事を増やす。
- ・子ども会と地域とのコラボ
- ・関わり場の場をもつと設け、「次も出たい！」と思つてもらおう。
- ・大人同士がつながる。
- ・地域の行事を利用して、子ども会などに声をかけていっしょに会話をしてお互いを理解する。

【アンケートより】

- ・身近な子どもたちの名前を覚えることから始めたい。
- ・各自治公での子どもとのかかわりがもっとあればよい。
- ・地域での会話を増やす。顔と名前を覚えて、名前を呼んで挨拶を交わす関係。
- ・会に参加することで、自分自身の意識改革ができ、何かできることはないか意欲が増した。



交流会



9月29日の土曜授業に、1・2年生と老人クラブの方をはじめ、地域の方と昔遊び交流会を行いました。けん玉、あやとり、めんこに羽根つきなどたくさんのお遊びを教えていただきました。じゃんけんゲームでは、負けると肩たたきをして、勝つと頭をなでてもらい、勝っても負けても、笑顔いっぱいの子たちでした。交流会をきっかけに、登下校や放課後など、地域の方とあいさつのできる関係になれたらと思います。

昔あそびをしました♪



けん玉コーナーで、おじいさんがわたしに、「ひざをつかったらいいよ。」と言われました。教えてもらったようにやってみたらできそうになりました。「もうちょっとでできるよ。」と言ってもらってうれしかったです。



はねつきで、わたしははんだいがわで羽根をうっていました。「いたがはんだいだよ。」と教えてくださったので、なおすとやりやすくなりました。さいしょはしょうずにできなかったけど、教えてもらったようにできました。



もちつき交流会をしました♪

もちつき交流会で、もちをつきました。もちをつくのは簡単そうに見えるけど、実際についてみるととてもむずかしかったです。おじいさんたちはとても簡単そうについておられたのすごいなと思いました。みんなでもちを食べたら、とてもおいしかったです。ぶたじるもちもとてもあったかくて、いもちもあまくておいしかったです。とても楽しかったです。



1月19日(土)の土曜授業の日、もちつき交流会を行いました。昔ながらの杵と臼を使ってお餅をつき、きなこ餅にして地域の方々とお食事をしました。地域の皆さんが作ってくれた大鍋いっぱいのお汁も、見事に平らげ、心も体もぽかぽかになる交流会となりました。

もちつき交流会がありました。おばあちゃんがとなりでした。もちをつくとき、つき方を教えてもらいました。力いっぱいについたけど、大人の人みたいな音が出ませんでした。やっぱり力が弱いのかと思いました。もちやぶた汁を食べてみると、とてもおいしかったです。お礼の出し物の校歌のとき、お客さんもしっかりと歌ってくださっていてとてもうれしかったです。とても楽しいもちつき交流会でした。地いきのおじいちゃん、おばあちゃんたちには、ぜひ、来年も来てほしいなと思います。

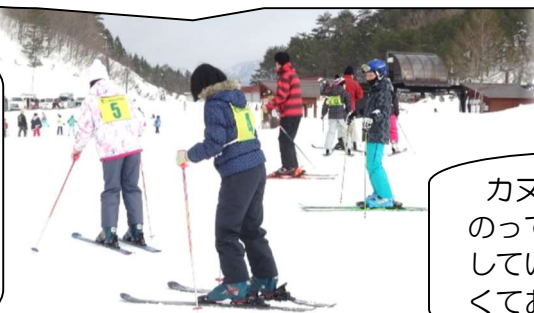


上灘地区スキー教室、恩原高原にて開催！



スキー教室には2度目の参加でした。初心者指導の先生に基本のすべり方や止まり方、リフトの乗り方などを教えてもらいました。最初はすべるのに緊張したけど、アドバイスをもらいだんだんすべるのが楽しくなりました。友達と一緒にすべるのもおもしろかったです。休けいの時は引率の地域の方とおしゃべりをして楽しい時間が過ごせました。

ぼくは、スキーは初めてやりました。恐怖心が強く、初心者指導を受け、初の初級に行きました。けど、全くこわくありませんでした。ぼくは友達と初級ばかりすべっていたけど、友達が「中級行こうや!!」というのでしょうがなくついていきました。すごく急でスピードについていけなくて何回もこけました。でも、なれたら楽しかったです。その後、上級にチャレンジしました。また来年も行きたいです！



カヌーにのりました。カヌーの池はふかくて、こいもいきました。のっているとすごくゆれることがあって、おちないかなあとドキドキしていました。友だちとカレーを食べて、れいとうみかんはつめたくておいしかったです。たのしいおもいでになりました。



大山・赤松の池にて

東中学校上灘地区PTA活動報告

生まれ育ったこの上灘地区が大好き！子どもたちが自然とそう思えるよう、今年度も地域行事に参加させていただきます。

4月のうわなだ桜まつりでは、事前にうわなだ未来塾で「中学生の味自慢コーナー」のイメージを膨らませ、多くの新一年生も参加してくれました。にぎやかな雰囲気の中で中学生らしい屋台となりました。当日は多くの方に購入いただき、ありがとうございました。また、まつり当日だけでなく、会下谷川のぼんぼりつけ・外にも参加させていただきました。役割分担して進める姿を頼もしく感じました。

9月の上灘地区大運動会では、放送係、器具係などのボランティアをさせていただきました。慣れないながらも地域の方と一緒に活動することで地域の一員として役にたてるということが再認識できました。

11月には、親子で地域のごみ拾いを計画しましたが、雨天のため上灘公民館の掃除をさせていただきました。参加者全員が真面目に取り組み、隅々まできれいにすることで自分たちですがすがしい気持ちになることができました。

こうやって地域の行事に関わらせていただくことで、いろんな成長の機会をいただいています。自分たちを見守り育ててくださっていることを肌で感じながら、今後も地域の皆さまと気軽に挨拶できる関係の中学生とその保護者でありたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。

